

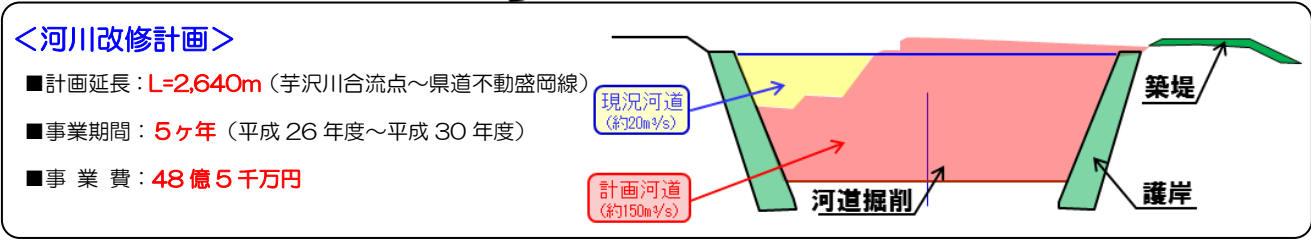
一級河川岩崎川「矢巾町道岩崎川橋」開通

河川課、盛岡広域振興局土木部

1 平成25年8月9日豪雨と床上浸水対策特別緊急事業

矢巾町に位置する一級河川岩崎川では、平成25年8月9日の豪雨により床上浸水96戸、床下浸水286戸の甚大な被害が発生しました。県ではこの被害を受けて、平成26年度より岩崎川における【芋沢川合流点～県道不動盛岡線】の区間L=2.64kmに「床上浸水対策特別緊急事業※」を導入し、河川改修工事を進めています。

※ 床上浸水被害が頻発している地域に関係する河川のうち、特に対策を促進する必要がある区間を対象として、治水手法の集約化、集中実施により概ね5ヶ年で再度災害防止対策を完了し、浸水被害を解消する事業

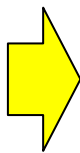


2 岩崎川橋の架替え

岩崎川に架かる岩崎川橋(町道橋)は、平成25年豪雨により落橋したため、平成27年4月より河川改修の計画幅に合せて、これまでの橋長7.4mを19.5mに改築する工事を進めてきました。



被災直後の岩崎川橋(旧橋)



完成した岩崎川橋(新橋)

この工事は、床上浸水対策特別緊急事業により**最初に現地着手**したものであり、着工から435日を経て、**平成28年6月17日**にようやく**開通式**を迎えることができました。

開通式は事業主体の岩手県、道路管理者の矢巾町の共催により開催したものであり、近隣の町立煙山小学校児童約70名による「**煙山小さんさ踊り**」で幕を開け、盛岡広域振興局長と矢巾町長による式辞、来賓の皆さまからの祝辞を頂いた後、局長より橋名板を揮毫して頂いた児童2名へ「**橋名板の進呈**」が行われました。その後、**煙山小吹奏楽部**約40名の**ファンファーレ**に合せた来賓によるテープカット、出席者全員による**記念撮影**、吹奏楽部を先頭に、出席者、近隣住民による**渡り初め**を行いました。

岩崎川橋の開通により、被災以降、**約2年10ヶ月の間寸断**されていた地元矢次行政区の交通動線が再び確保され、**通勤通学や日常生活の利便性の向上**が期待されます。

現在、河川改修工事は事業区間の概ね中央のJR東北本線付近まで進捗しています。

今後、県ではJR東北本線上流の河川改修や下海老沼橋ほか3橋の橋梁架替え工事を鋭意進めていきます。

